

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	湯河原町温泉場地区における街なみ環境の向上												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)												
交付対象	湯河原町												
計画の目標	歴史と伝統を誇る湯河原温泉の「温泉場」としての風情のある街なみづくりと、回遊性を持たせるための歩道、小公園、藤木川沿いの親水空間の整備等により、訪れる人が湯河原温泉の歴史・文化や、街歩きの楽しさを味わうことのできるまちづくりを目指します。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	181	A	168	B	0	C	13	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	7.18	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	事業地区内における修景整備件数を0件(H27)から20件(H30末)に増加 修景整備件数：事業地区内における地区施設、建築物、工作物、建築設備、看板等の修景整備件数を調査する。	0件	件	20件
2	街なみ環境整備事業によって得られた住民実感の向上 湯河原町が実施するアンケート調査「温泉場地区住民まちなみ調査(仮称)」の景観向上に関する満足度	0%	%	40%
3	観光交流の拠点に位置付けている美術館の利用者数を15,948人/年から19,000人/年に増加 利用者数：湯河原ゆかりの美術館の利用者数の合計値を調査する。	15948人/年	人/年	19000人/年
4	事業地区内の宿泊施設の宿泊者数を32,985人/年から39,590人/年に増加 延観光客数：町の延観光客数(宿泊者数+日帰り客数)を調査する。	4072108人/年	人/年	4900000人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	湯河原町	直接	町	-	-	湯元通り地区 街なみ環境整備事業	事業計画策定、道路美装化等	湯河原町						127		-	
	A16-002	住宅	一般	湯河原町	間接	民間	-	-	湯元通り地区 街なみ環境整備事業	修景施設整備等	湯河原町						41		-	
												小計						168		
											合計							168		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	湯河原町	間接	団体	-	-	共同湯整備事業	旧老舗旅館の建物等を活用した共同湯の整備	湯河原町						5	-		
		景観重要建造物に指定された旧老舗旅館などを活用して共同湯を整備し、歴史的な建造物の再生利用と、温泉街としての機能の充実を図る。																		
	C16-002	住宅	一般	湯河原町	間接	団体	-	-	清掃・緑化活動支援事業	清掃・緑化活動等補助	湯河原町						1	-		
		公共空間の清掃と積極的な緑化を推進することで、街なみ環境の向上を図る。																		
C16-003	住宅	一般	湯河原町	直接	団体	-	-	有料駐車場整備事業	公共有料駐車場の整備	湯河原町						5	-			
	公共有料駐車場を整備することにより、来訪者の街歩きの利便性を高めるとともに、立ち寄り客、日帰り客の増加を図る。																			
C16-004	住宅	一般	湯河原町	直接	町	-	-	湯河原散策マップ等作成事業	歴史案内図作成及び配布	湯河原町						2	-			
	散策パンフレットによる情報提供や回遊ルートの設定により、湯河原町に点在する歴史的資源を町民や来訪者に発信し、回遊性の向上を図る。																			
											小計						13			
											合計						13			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<p>事業担当課及び観光振興所管課で、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果に至った原因を分析した。 その検証結果を踏まえて今後のまちづくりの方針を検討するとともに、その評価に対して客観的な視点を反映させるため、「湯元通りを考える会」に、事後評価の内容に対して意見を求め、評価手続き及び今後の方針について概ね妥当であるとの意見を得た。</p>	令和元年度
	公表の方法
	町ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみ協定に基づき、建築物、外構、広告物等の修景整備を実施したことにより、温泉場としての風情のあるまちなみづくりができた。 ・道路の美装化や街路灯、案内板の整備等により、観光客の回遊性が高まった。また、事業地区が湯河原観光ボランティアのガイドのルートとなり、通りのガイドツアーが行われるようになった。 ・事業地区内の宿泊施設の宿泊者数は、平成30年度で34,159人/年と増加している。 ・本事業による景観まちづくりの取り組みが、事業地区内の商業機能の再生・新設の呼び水となった。（旅館事業の再生、飲食店の新設、土産物店の再生）
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業による景観まちづくりの取り組みが、事業地区外の隣接するエリアにおける大型投資案件参入に貢献した。 ・事業地区の景観まちづくり活動の機運の高まりや、活動の仕組みを事業地区外へ広げる形で、温泉場全体の地域戦略の検討、温泉場のエリアマネジメント体制の確立、景観ガイドラインの周知・共有、エリアの新たな魅力づくりのための事業化などへつながった。
特記事項（今後の方針等）	
<p>整備事業地区内の道路の美装化や建物の修景は進んだが、整備促進区域内においては道路、建物等の整備は不十分であり、温泉場の情緒を感じさせるさらなる景観整備と歩行者の安全性の確保が残された課題となっている。 今後の方針としては、整備促進区域において、玄関口となる広場や滞留空間及び回遊性を生み出すための通路等の整備を行うとともに、歴史と伝統を誇る湯河原温泉の「温泉場」としての風情のある街なみづくりを行うことにより、湯河原温泉の歴史・文化や街歩きを楽しむことのできる住環境づくりを目指す。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	修景整備件数		
	最終目標値	20件	民間の修景施設整備に対する補助であり、計画した件数ほど実績は上がらなかった。
	最終実績値	9件	
2	満足度		
	最終目標値	40%	まちなみ協定に基づき建築物等の修景整備を実施したことにより、風情のある街なみづくりができた。
	最終実績値	40%	
3	利用者数		
	最終目標値	19000人/年	改修工事による2週間ほどの休館日があったため。
	最終実績値	18675人/年	
4	延観光客数		
	最終目標値	4900000人/年	平成27年度の箱根大涌谷の噴火による観光客数の減少に伴う町全体の観光客数の減少によるため。
	最終実績値	3309000人/年	